

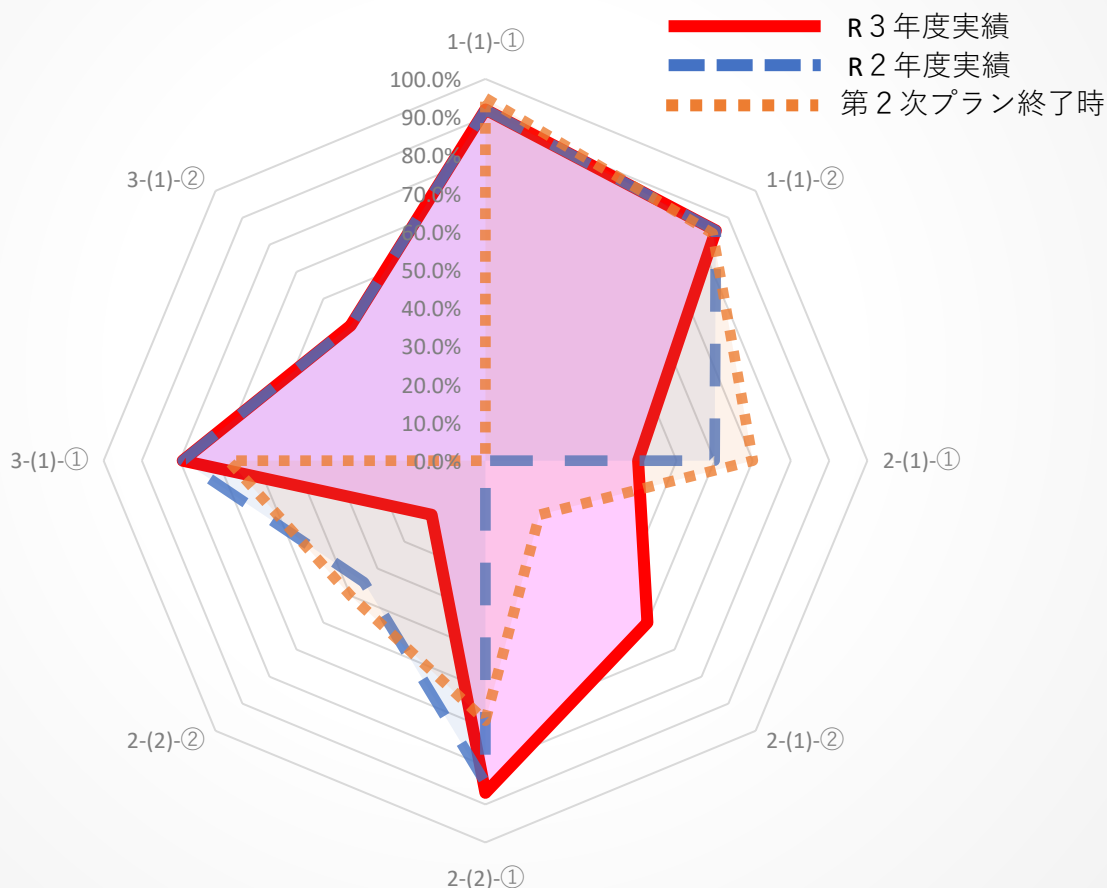
	現状値	実績値	目標値	対最終目標比	該当する取組実績 ※資料1-2、1-3に該当する記述がないものについては、（ ）を付しています。	
	第2次プラン 終了時	実績値 (R3年度) A	最終目標 (R5年度) B	(達成率) A/B		
基本目標1 【知】お互いを知り合う・分かり合う機会をつくろう						
1 地域コミュニティづくり						
(1) 気軽に声をかけ合う地域づくり						
自ら進んであいさつをしている児童・生徒の割合	66.5%	[64.4%]	70.0%	92.0%	市 社協	・地域住民や利用者、登下校時の児童に、積極的に挨拶や声かけを行いました。 ・学校における福祉学習の場において、あいさつ運動や身近な見守り活動の啓発を行いました。
近所の方が相手からあいさつをしてくれると感じている児童・生徒の割合	59.0%	[59.7%]	70.0%	85.3%	市 社協	・地域住民や利用者、登下校時の児童に、積極的に挨拶や声かけを行いました。 ・あいさつ運動を周知するためのクリアファイルを配布しました。
2 福祉学習の推進						
(1) 学校などにおける多様な福祉学習の推進						
福祉学習を実施している学校数	14校	8校	20校	40.0%	市 社協	・高齢者や障害者との交流活動、車椅子体験やアイマスク体験、高齢者疑似体験等を社会福祉協議会の協力のもと、小中学校で実施しました。 ・学校における福祉学習の支援を8校で行いました。
教職員向けの学習に参加している学校数	4校	12校	20校	60.0%	市 社協	・社会福祉協議会と小中学校12校の福祉教育担当とのZOOMでの福祉学習に関する情報交換を7月に1回行い、連携を図りました。 福祉教育担当者説明会を開催し、教職員に対し福祉学習の理解を促しました。 参加校数：12校
(2) 地域における福祉学習の推進						
認知症サポーター養成講座の受講者数	6,817人	8,698人	10,000人	87.0%	市 社協	・福祉学習の一環で実施していた認知症サポーター養成講座は、私立中高等学校からの要請があり、一部には実施できました。 ・地域福祉推進組織、福祉関係事業所等の協力を得て福祉学習を進められました。また、社会福祉法人との連携により、小学生と高齢者との手紙の交流を行いました。
生活課題に関する出前講座の実施回数	10回/年	4回/年	20回/年	20.0%	市 社協	・令和3年度、地域における福祉に関する生活課題の講座を4回開催しました。 ・該当する取組は、ありません。
3 情報の発信と共有						
(1) 多様な媒体によるわかりやすい情報の発信と共有 【重点目標3】						
はんのうふくしの森プランを知っている人の割合	40.4%	[47.6%]	60%	79.3%	市 社協	・本計画の中間アンケートを市民1,000人に対し4月から5月にかけて実施しました。はんのうふくしの森プランの取組の紹介やコミュニティソーシャルワーカーの紹介を織り交ぜました。ふくしの森ポータルサイトのQRコードを掲載するなど周知を進めました。 ・LINEやフェイスブックを活用し、ふくしの森プランの情報や市民の情報発信を支援しました。
[新規] 「ふくしの森マップ」の作成	未発行	WEB版のみ発行	発行	一部完了	市 社協	・ふくしの森ポータルサイトのマップWEB版について、市のホームページとリンクさせ各課で内容を随時更新しました。 ・地域の交流拠点や生活支援、移動支援の取組、身近な相談窓口をマップ化した「ふくしの森マップ」等を掲載した「はんのうふくしの森プランポータルサイト」を運営しました。

現状値 第2次プラン 終了時	実績値 実績値 (R3年度) A	目標値 最終目標 (R5年度) B	対最終目標比 (達成率) A/B	該当する取組実績 ※資料1-2、1-3に該当する記述がないものについては、（ ）を付しています。	
基本目標2 【交】暮らしやすい移動・交通の仕組みをつくろう					
1 交流の場づくり					
(1) 地域の居場所などの交流の場づくり 【重点目標1】					
地域の居場所（サロン、子ども食堂、食事会など）の設置数	49か所	55か所	70か所	78.6%	<p>市 ・地域住民を中心とした利用団体に、交流の場、憩いの場として、貸館を行いました。</p> <p>社協 ・セブン-イレブンと協働し、移動販売実証実験を実施。副次的に小規模コミュニティが生まれる効果がみられました。（130回、利用人数：4,259人） ・支え合い飯能が実施する居場所づくりの活動「よりみち」は、“たんぼCAFE”の場の無償提供により、実施しています。また、同法人が主催し、週2回「寄ってケア」が実施されています。 ・加治東ふれあい広場が実施する「居場所づくり勉強会」にNPO法人ゆうのスタッフも参加し、より良い居場所づくりに向けた意見交換を実施しています。 ・加治東ふれあい広場が令和4年1月に開設した「えんがわサロン松原」は、個人所有の空き店舗を活用して実施しています。</p>
認知症カフェの参加者数	1,428人/年	462人/年	2,000人/年	23.1%	<p>市 （・相談窓口、講座、講演会等でパンフレットを配布するなど周知を図りました。）</p> <p>社協 （・地域ケア会議等の場で、社会資源のひとつとして認知症カフェを紹介しました。）</p>
(2) 意見を交わせる場づくり					
ふくしの森地区別懇談会の参加者数	477人	46人	1,000人	4.6%	<p>市 ・該当する取組は、ありません。</p> <p>社協 ・地域における話し合いの場でふくしの森圏域ごとの活動計画づくりにつながる検討をしました。（吾野2回33人、原市場3回36人、名栗1回10人）</p>
福祉関係事業者懇談会の開催回数	1回/年	12回/年	2回/年	100.0%	<p>市 ・飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会の設立総会にオブザーバーとして参加し、他市の社会福祉法人等の先進的な取組について情報収集しました。</p> <p>社協 （・多職種連携のための「飯能・日高地区ワールドカフェ」の運営支援を行いました。） ・地域における公益的な取組の推進（埼玉県社協モデル事業）の一環として、連携による地域公益活動に取り組むネットワーク組織「飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会」を設立しました。設立総会を7月に開催し、実務者級職員による活動検討会議の幹事会を4回開催し、分科会を2回開催しました。</p>
2 地域の移動・交通の充実					
(1) 身近な外出支援の仕組みづくり 【重点目標1】					
助け合いの移送サービス実施団体数	4団体	6団体	6団体	100.0%	<p>市 ・家事支援と一体として送迎サービスなどを提供する「たすけあい加治」等に対し、補助金の交付を行いました。</p> <p>社協 ・吾野地区、名栗地区では、地域福祉推進組織による支え合いの外出の機会づくりを支援しました。また、精明地区、加治地区では、介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービスB実施団体が新たに取り組む外出支援の取り組みを支援しました。</p>

	現状値	実績値	目標値	対最終目標比	該当する取組実績	
	第2次プラン 終了時	実績値 (R3年度) A	最終目標 (R5年度) B	(達成率) A/B	※資料1-2、1-3に該当する記述がないものについては、（ ）を付しています。	
基本目標3 【支】 支え合いの仕組みをつくろう						
1 地域で支え合う人の育成						
(1) ふくしの森サポーターの創設 【重点目標4】						
〔新規〕 ふくしの森サポーター講座の開催回数	0回	2回	20回	10.0%	市 社協	・11月に社協及びはんのうふくしの森プラン推進市民会議が開催した「ふくしの森みらいカレッジ（ふくしの森リーダー養成研修）」の運営に協力しました。 ・ふくしの森サポーター（リーダー）の学びの場の取組について市民会議で検討しました。
〔新規〕 ふくしの森サポーターの登録者数	0人	14人	300人	4.7%	市 社協	・11月に社協及びはんのうふくしの森プラン推進市民会議が開催した「ふくしの森みらいカレッジ（ふくしの森リーダー養成研修）」の運営に協力しました。 ・ふくしの森みらいカレッジを開催し、8人が修了、内6人がふくしの森リーダーとして登録しました。
(2) ボランティアの育成						
ボランティアセンターに登録しているボランティア数（個人活動者）	50人	26人	75人	34.7%	市 社協	・社協へ人件費を補助し、ボランティアセンターの運営に対する支援を行いました。 ・運営委員会を1回開催し、社会資源等の活用によるボランティアセンター機能の活性化やボランティアセンターの役割について共有を図りました。
同（団体に所属する活動者）	1,106人	1,137人	1,500人	75.8%	市 社協	・社協へ人件費を補助し、ボランティアセンターの運営に対する支援を行いました。 ・運営委員会を1回開催し、社会資源等の活用によるボランティアセンター機能の活性化やボランティアセンターの役割について共有を図りました。
同（活動団体）	57団体	50団体	65団体	76.9%	市 社協	・社協へ人件費を補助し、ボランティアセンターの運営に対する支援を行いました。 ・運営委員会を1回開催し、社会資源等の活用によるボランティアセンター機能の活性化やボランティアセンターの役割について共有を図りました。
2 支え合いの地域づくり						
(1) 地域福祉推進組織の全圏域での設立						
地域福祉推進組織の設立数	7組織	7組織	13組織	53.8%	市 社協	・地域福祉推進組織の活動に対し、会議等の会場提供（貸館）による支援を行いました。 ・地域福祉推進組織（7組織）に対して、コミュニティソーシャルワーカーを中心に技術提供、情報提供による支援を行いました。
(2) 地域福祉推進組織の活動の充実						
地域福祉推進組織交流会の開催回数	1回/年	1回/年	2回/年	50.0%	市 社協	（・地域福祉推進組織交流会に参加し、各組織の取組や課題について情報収集しました。） ・各団体代表者による「地域福祉推進交流会」を開催しました。（オンライン）
(4) 民生委員児童委員協議会との連携						
民生委員・児童委員活動を知っている人の割合	24.5%	[40.8%]	40.0%	102.0%	市 社協	（・民児協だよりを年2回発行し、民生委員・児童委員の活動を市民に広く紹介しました。） ・該当する取組は、ありません。
(5) 多様な活動の連携						
福祉関係事業者懇談会の開催回数	1回/年	12回/年	2回/年	100.0%	市 社協	・飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会の設立総会にオブザーバーとして参加し、他市の社会福祉法人等の先進的な取組について情報収集しました。 （・多職種連携のための「飯能・日高地区ワールドカフェ」の運営支援を行いました。） ・地域における公益的な取組の推進（埼玉県社協モデル事業）の一環として、連携による地域公益活動に取り組むネットワーク組織「飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会」を設立しました。設立総会を7月に開催し、実務者級職員による活動検討会議の幹事会を4回開催し、分科会を2回開催しました。
地域における公益的な取組を行っている社会福祉法人数	4法人	9法人	8法人	100.0%	市 社協	・社会福祉法人の指導監査を2件実施し、公益的な取組の実践を促しました。 ・地域における公益的な取組の推進（埼玉県社協モデル事業）の一環として、連携による地域公益活動に取り組むネットワーク組織「飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会」を設立しました。設立総会を7月に開催し、実務者級職員による活動検討会議の幹事会を4回開催し、分科会を2回開催しました。

	現状値	実績値	目標値	対最終目標比	該当する取組実績
	第2次プラン 終了時	実績値 (R3年度) A	最終目標 (R5年度) B	(達成率) A/B	
※資料1-2、1-3に該当する記述がないものについては、（ ）を付しています。					
基本目標4 【安】安心して暮らせる仕組みをつくろう					
1 相談支援体制の強化					
(1) コミュニティソーシャルワーカーの充実 【重点目標2】 【重点目標4】					
コミュニティソーシャルワーカーの配置人数	6人	9人	13人	69.2%	市 社協 ・社協への補助金によりコミュニティソーシャルワーカーの件数を補助しました。 ・職員配置計画を作成し、市と協議した結果、令和4年度に職員1名分を増額することができました。
ふくしの森ステーションの設置数	7か所	7か所	13か所	53.8%	市 社協 ・社協への補助金によりコミュニティソーシャルワーカーの件数を補助しました。 ・職員配置計画を作成し、市と協議した結果、令和4年度に職員1名分を増額することができました。
コミュニティソーシャルワーカーを知っている人の割合	37.9%	[34.0%]	60.0%	56.7%	市 社協 ・本計画の中間アンケートを市民1,000人に対し4月から5月にかけて実施しました。はんのうふくしの森プランの取組の紹介やコミュニティソーシャルワーカーの紹介を織り交ぜました。ふくしの森ポータルサイトのQRコードを掲載するなど周知を進めました。 ・ふくしの森プランを周知するための啓発品の配布を継続しました。 (・ステーションだよりにてコミュニティソーシャルワーカーの周知を図りました。)
(2) ネットワークによる相談支援体制の強化 【重点目標2】					
[新規] 相談支援者ネットワーク会議の開催回数	0回/年	0回/年	2回/年	0.0%	市 社協 (・3月に相談窓口担当課と社協向けに総合相談支援体制整備に関する研修会を開催し、本市の総合相談窓口の取組の現状と課題を共有するとともに、県のアドバイザーから意見聴取し、次年度以降の相談支援体制の検討の足掛かりとしました。) ・飯能中央地区、第二区地区、南高麗地区、原市場地区、名栗地区では相談支援者地域連携会議を定期的に開催しました。また、新たに吾野地区、東吾野地区にも設置しました。
2 権利擁護の推進					
(2) 成年後見制度に関する取組の充実					
市民後見人養成講座（実践編）の修了者数	67人	76人	100人	76.0%	市 社協 ・令和4年1月29日に市民後見人養成講座（入門編）を開催しました。 ・市民後見人養成講座修了者を対象とした市民後見人フォローアップ講座に27名が参加し、権利擁護に関する学習の提供や取組の周知を行いました。
[新規] 成年後見制度を知っている人の割合	0.0%	[12.9%]	20.0%	64.5%	市 社協 (・人権週間に合わせて12月2日から10日までの間、市民活動センター（丸広7階）にて関係9課でパネル展示を行い、人権擁護・権利擁護の周知・啓発を行いました。) ・市民後見人養成講座修了者を対象とした市民後見人フォローアップ講座に27名が参加し、権利擁護に関する学習の提供や取組の周知を行いました。
3 防災・防犯の地域づくり					
(1) 安心して暮らせる地域づくり					
福祉避難所に関する協定の締結数	26件	28件	30件	93.3%	市 社協 ・市内障害者支援施設に福祉避難所指定について働きかけを行いました。 ・「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」の改定を踏まえ、福祉避難所の充実へ向けた検討を介護福祉課内で行いました。 ・該当する取組は、ありません。

基本目標 1 【知】
 お互いを知り合う・分かり合う機会をつくろう
 (対最終目標比)

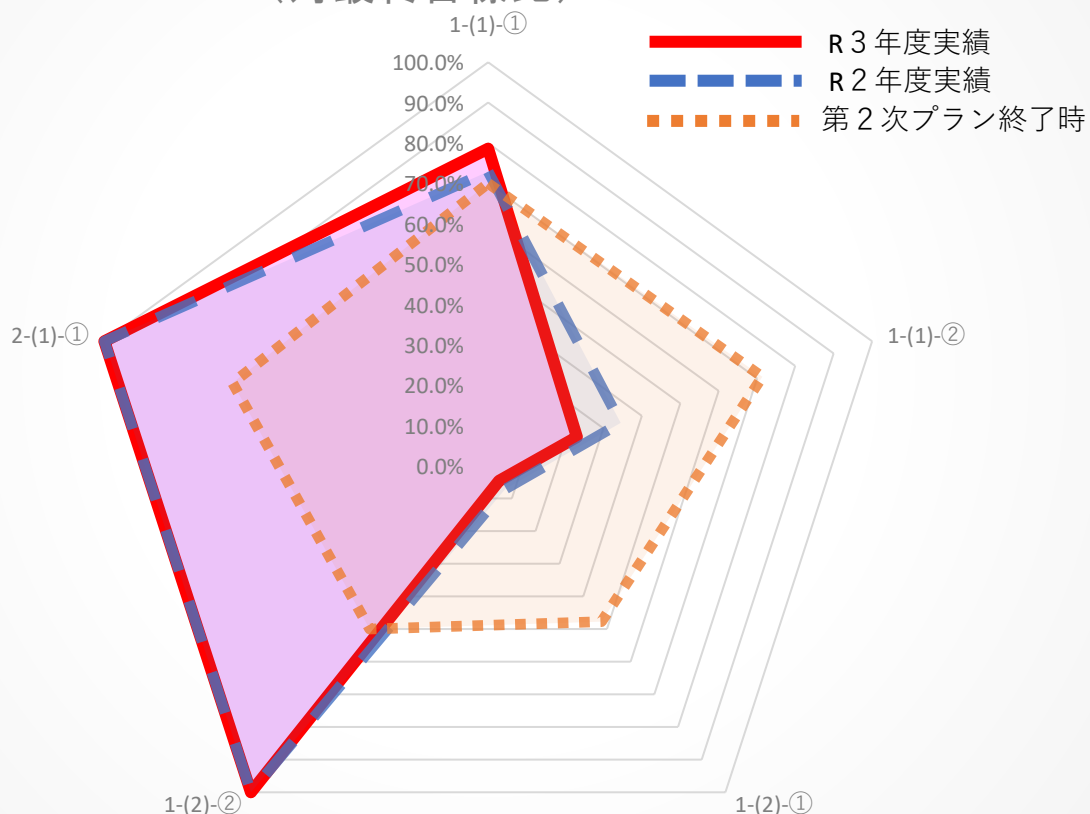


1-(1)-①	自ら進んであいさつをしている児童・生徒の割合
1-(1)-②	近所の人から相手からあいさつをしてくれると感じている児童・生徒の割合
2-(1)-①	福祉学習を実施している学校数
2-(1)-②	教職員向けの学習に参加している学校数
2-(2)-①	認知症サポーター養成講座の受講者数
2-(2)-②	生活課題に関する出前講座の実施回数
3-(1)-①	はんのうふくしの森プランを知っている人の割合
3-(1)-②	〔新規〕 「ふくしの森マップ」の作成 (※)

※3-(1)-②の「一部完了」の実績値は、「WEB版のみ発行」したため、50.0%としています。

※網掛けされている箇所は、重点目標の具体的な施策内容に挙げている項目です。

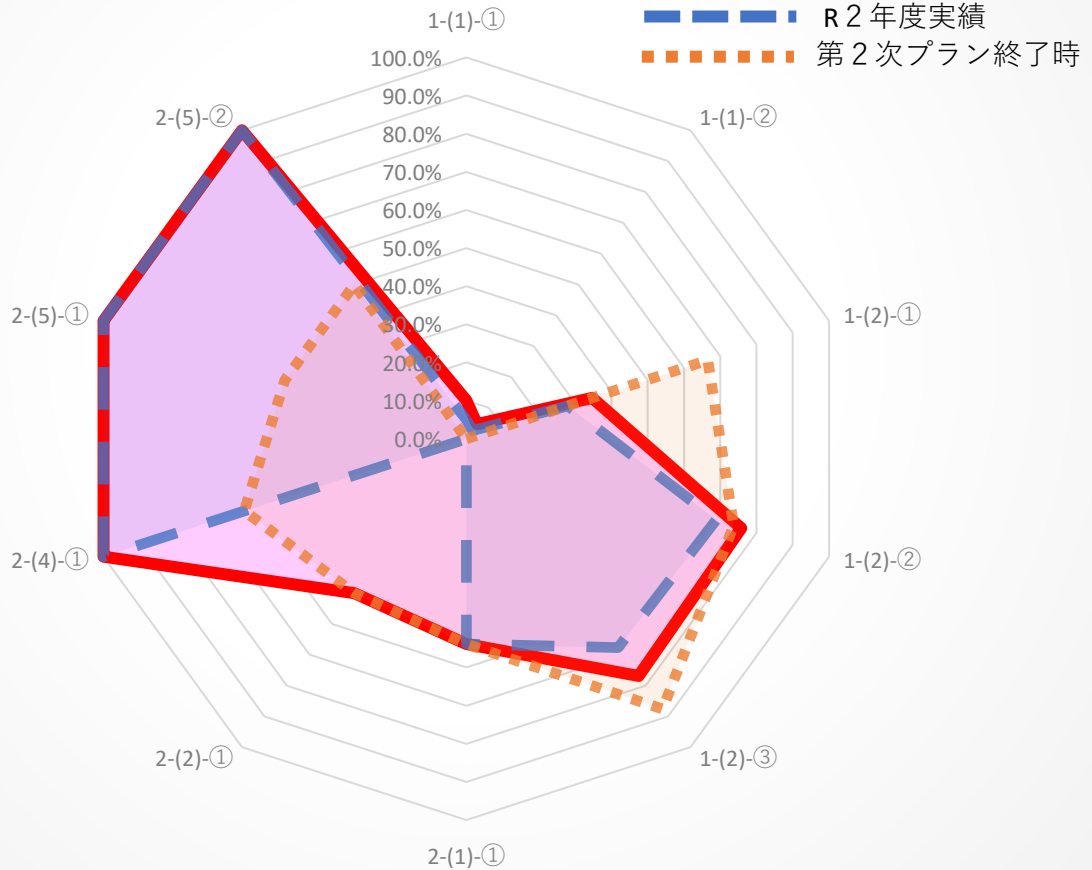
基本目標 2【交】
暮らしやすい移動・交通の仕組みをつくろう
(対最終目標比)



1-(1)-①	地域の居場所（サロン、子ども食堂、食事会など）の設置数
1-(1)-②	認知症カフェの参加者数
1-(2)-①	ふくしの森地区別懇談会の参加者数
1-(2)-②	福祉関係事業者懇談会の開催回数
2-(1)-①	助け合いの移送サービス実施団体数

※網掛けされている箇所は、重点目標の具体的な施策内容に挙げている項目です。

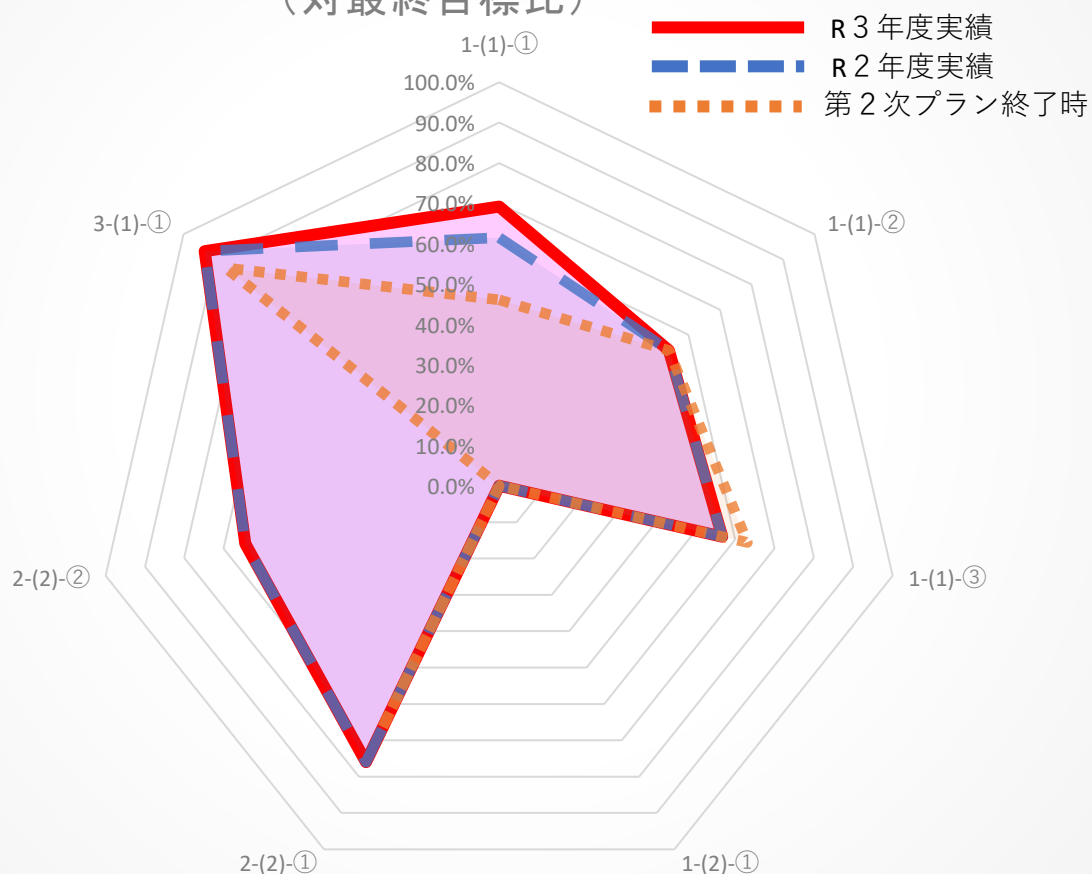
基本目標3【支】
 支え合いの仕組みをつくろう
 (対最終目標比)



1-1-1	〔新規〕 ふくしの森サポーター講座の開催回数
1-1-2	〔新規〕 ふくしの森サポーターの登録者数
1-2-1	ボランティアセンターに登録しているボランティア数（個人活動者）
1-2-2	同（団体に所属する活動者）
1-2-3	同（活動団体）
2-1-1	地域福祉推進組織の設立数
2-2-1	地域福祉推進組織交流会の開催回数
2-4-1	民生委員・児童委員活動を知っている人の割合
2-5-1	福祉関係事業者懇談会の開催回数
2-5-2	地域における公益的な取組を行っている社会福祉法人数

※網掛けされている箇所は、重点目標の具体的な施策内容に挙げている項目です。

基本目標 4【安】
 安心して暮らせる仕組みをつくろう
 (対最終目標比)



1-(1)-①	コミュニティソーシャルワーカーの配置人数
1-(1)-②	ふくしの森ステーションの設置数
1-(1)-③	コミュニティソーシャルワーカーを知っている人の割合
1-(2)-①	〔新規〕 相談支援者ネットワーク会議の開催回数
2-(2)-①	市民後見人養成講座（実践編）の修了者数
2-(2)-②	〔新規〕 成年後見制度を知っている人の割合
3-(1)-①	福祉避難所に関する協定の締結数

※網掛けされている箇所は、重点目標の具体的な施策内容に挙げている項目です。